

ウエルの
今を
深掘り！

WELL通信



2026.8.AUGUST [ウエル通信]



特集

〈外国人スタッフの活躍を紹介〉言葉の壁を越えて成長し 利用者様を支える介護のプロへ

厨房だより



焼きたてパンの バイキングを実施

ウエルグループでは、昼食に焼きたてのパンを提供する「パンバイキング」を始めました。

温めるだけでなく、オーブンで焼き上げることで風味が増し、食感も良くなります。香ばしい香りに利用者様の食欲が刺激されている様子で、数種類をご用意しバスケットで提供したところ、普段は食



レストランのような食事体験も、食欲を高める工夫の一つ

の進まない方がおかわりをされたり、「ありがとう」と職員の手を握ってくださったりと、大変ご満足いただいています。これまで「エターナル緑地」「パセム西宮」「刀根山美豊苑」の3事業所で実施しました。利用者様に美味しいお食事を楽しんでいただけるよう工夫を重ね、今後はさらに実施事業所を広げながら継続的に開催していきたいと思っています。



日々のお食事は、ウエル清光会のブログでも紹介しています。ぜひご覧ください。



小規模多機能型居宅介護 利倉清豊苑

■豊中市利倉3-4-19 ■06-6210-6585 ■定員:25名

柔軟なサービス提供とよりそう姿勢で、ご自宅での暮らしを支えます



世代を越えて 地域とつながる

利倉清豊苑の小規模多機能型居宅介護では、地域との交流を大切にしています。盆踊りや敬老会などの地域行事に年間を通じて積極的に参加しているほか、施設

全体で開催している秋祭りには利用者様とごご家族に加え、近隣の小学校の児童も招待し、楽しんでいただいています。また年に一度、地域の小学生が卒業前に来所して歌を披露してくれるなど、世代を越えた交流も生まれています。地域行事への参加は、近隣にお住まいの利用者様にとっては、顔なじみの方々とお話する機会となっています。また地域の方には、私たちの小規模多機能型居宅介護を身近に感じていただくことで、「困った時にも頼れる先がある」という安心をお届けしたいと考えています。

利用者様によりそう 柔軟なサービス

もう一つの特徴が、柔軟な対応力です。体調が心配な時には、当日でも泊まりへとサービス内容を変更したり、ご家族のご都合に合わせて朝・昼・夜とお食事をしてからご帰宅いただいたり、入浴のみのご利用も可能です。例えば、退院直後でご自宅での生活に不安がある場合には、まずは施設にお泊まりいただき、体調の回復に合わせて少しずつご自宅で過ごす日数を増やしていく、といった対応もできます。



こうした柔軟なサービス提供ができるのは、サービスの管理者がケアマネジャーを兼務しているためです。利用者様のご希望を直接お聞きし、できる限りご本人やご家族の想いに沿ったサービスをご提案しています。

小規模多機能型居宅介護は、訪問・通い・泊まりの3つのサービスを組み合わせることで利用できる柔軟な仕組みですが、そこにお一人おひとりによりそう姿勢を重ねることでさらに柔軟性を高め、利用者様の在宅での暮らしをしっかりと支えていきます。

“いつもの暮らし”を 最期まで支える

「最期まで自宅で過ごしたい」という利用者様のお気持ちを大切に、ご自宅での生活を支え続けることが私たちの使命です。たとえば、体調不良で予定していた通いをお休みされた際には、職員がご自宅まで伺って様子を確認するなど、細やかに見守る体制を整えています。

一方で、利倉清豊苑はグループホームや特別養護老人ホームを併設した複合施設でもあります。万が一ご自宅での生活が難しくなった場合にも、見慣れた施設の中で、顔なじみの職員とともに、環境を大きく変えることなくサービスを移行することができます。人生の最終章まで、安心してお任せください。



ウエルグループ | 入所系・通所系サービスのご相談は、下記の事業所へ直接ご連絡ください。QRコードから、それぞれの連絡先をご覧ください。

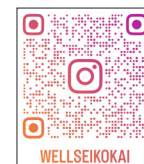
豊中市

- ①清豊苑 [特]
- ②利倉清豊苑 [地/デ/グ/小/定]
- ③美豊苑 [特/ケ]
- ④刀根山美豊苑 [地/デ]
- ⑤輝豊苑 [デ/グ]
- ⑥ウエルケアプランセンター

- ⑦ウエリスト [小/デ]
- ⑧社会福祉法人香聖会 宙(すばる)豊中 [地/グ/小]
- ⑨庵とよなか庄本 [有]
- ⑩エターナル緑地 [有]

宝塚市

- ⑪宝塚清光苑 [特/デ/グ/小/ケ/定]
- 芦屋市
- ⑫陽光苑 [地/デ/グ]
- 西宮市
- ⑬パセム西宮 [有]
- ⑭ケアプランセンター西宮清光苑



[特]特別養護老人ホーム [地]地域密着型特別養護老人ホーム [デ]デイサービス [グ]グループホーム
[小]小規模多機能型居宅介護施設 [ケ]ケアプランセンター [有]有料老人ホーム [定]定期巡回サービス

外国人スタッフの活躍を紹介



言葉の壁を越えて成長し 利用者様を支える介護のプロへ

国内の介護業界で人手不足が課題となる中、ウエルグループは利用者様に安定したサービスをお届けするため、5年ほど前から外国人スタッフの採用に取り組み、人材確保に努めています。母国を離れて日本で働くスタッフたちが育ち、活躍する姿をご紹介します。

■家族のように支える職場環境づくり

Q…採用の基準は？

中丸…日本語をどのくらい話せるかは重視しています。「特定技能実習生」として他の職種で働いていた人が新たに介護に携わりたいと希望し、介護職に就くケースもあります。介護は未経験でも、ある程度日本語を話せる方であれば、と考えています。

森井…それに加えて、利用者様とふれあいやすい、他のスタッフとのコミュニケーションも大切な仕事ですから、明るさや優しさが自然

と伝わってくる人がいいですね。

中丸…時には現地まで足を運び、直接顔を合わせ、雰囲気の良いを感じた人に来てもらうようにしています。現在はインドネシア、ベトナム、フィリピン、タイなど東南アジア出身のスタッフを中心に、宝塚で8名、豊中で10名が勤務してくれています。

Q…職場環境づくりで心がけていることは？

中丸…まず大前提として、雇用条件に差をつけないことです。有給休暇の取得日数や残業代の支払いなど、法令に則って日本人と同じ条件で雇用しています。

森井…その上で私が大切にしているのは、温かく迎え入れる雰囲気づくりです。「私たちがちゃんと見守っているよ」という気持ちで伝わるようにこまめに声をかけ、コミュニケーションをとる



複合型介護施設
宝塚清光苑
施設長
中丸龍次



特別養護老人ホーム
清豊苑
副施設長
森井佐知子

ことを心がけています。

中丸…母国を離れ、初めて日本で生活を始めるスタッフもいるので、私生活に気を配ることも大切です。例えば体調を崩した際には、通いやすい病院や受診の仕方を教えるなど、日常の困りごとをサポートしています。

森井…来日した当初は右も左も分からない状態なので、家探しから家具の組み立て、食料品の買い物、市役所での手続きまで一緒に同行きました。仕事だけでなく、生活そのものによりそっています。

中丸…森井さんにとっては、お子さんが増えたようなものですね。

森井…母国のご両親の立場に立てば、自分の子どもが海外に一人で渡って生活するのは心配で仕方ないはずです。だからこそ、できる限りのサポートをしてあげなければと考えています。

Q…交流の取り組みは？

森井…早く職場に慣れてほしいので、ウエルグループ全体でも交流の場づくりに力を入れています。食事会やボウリングなどの懇親会を年に3回ほどは企画し、グループ内の外国人スタッフ同士で親睦を深めてもらっています。情報共有や相談しやすい環境づくりを進めることで安心して長く働ける環境づくりにつながれると思います。



ウエルの
今を
深掘り！

中丸…横のつながりができて、仲良くなったメンバーで後日食事に出かけたりもしているようです。そういう面も含めて働きやすさを感じてくれているのか、お友達を紹介してくれることもよくあります。同じ国の仲間が職場に増えると、やはりみんなうれしそうです。

■言葉の壁を越えて頼られる存在に

Q…スタッフ教育は？

中丸…介護業務に関しては、現場のスタッフと一緒に働く中で少しずつ覚えてもらっています。来日時は日本語をほとんど話せないのですが、業務の指示はジェスチャーを交えながら短い言葉で明確に伝えるよう意識しています。ただ、理解できていなくても「わかりました」と返してしまうスタッフもいるので、そこは私たちの方で気づいてあげなければいけません。

森井…「何かあれば他のスタッフに必ず声をかけてね」と伝え、困った時に声をかけられる環境づくりを大切にしています。最近は翻訳アプリが進化しているので、言葉の壁はある程度は乗り越えられるようになりました。

中丸…外国人スタッフを採用し始めた当初は、日本人スタッフにも戸惑いがあったかもしれませんが、しかし今では、相手が困っていないか、指示がきちんと伝わっ



語も話せなかったスタッフが、今では日本人スタッフと変わらず介護のプロとして活躍してくれています。その成長した姿を見るとうれいですね。特別養護老人ホームのユニトリージャーを目指すスタッフもいます。頑張つて働き続け、ぜひ目標を叶えてほしいと思います。

中丸…宝塚清光苑では、一人の外国人スタッフが介護福祉士の試験に合格してくれました。本当にうれしい出来事です。もともと介護経験を持って私たちの事業所に入り、さらに経験を積んで合格に至りました。彼に続きたいと、当法人でゼロから介護に携わりながら同じ資格取得を目指すスタッフも出てきています。そういう人材が一人でも多く育ってくれることを期待しています。

Q…今後への期待は？

森井…みんなが介護職の素質を十分に備えていて、前向きで意欲的です。来日時には日本

■日々成長し、資格取得に挑む姿も



特別養護老人ホーム
宝塚清光苑
HENI SETIAWAN
(ヘニ・セティアワン)

宝塚清光苑で働く中で感じるの、スタッフの皆さんが入居者様お一人おひとりに合ったケアを真剣に考えているところです。その姿勢を学び、自身のケアに活かすうちに、入居者様から「ありがとう」という言葉をいただけるようになりました。この仕事を選んでよかったと心から思っています。勉強の甲斐あって介護福祉士の資格も取得でき、自分でも驚いています。今後は現場以外の業務も学び、いつか母国に帰った際に、ここでの経験を活かしたいと思っています。

外国人スタッフの声